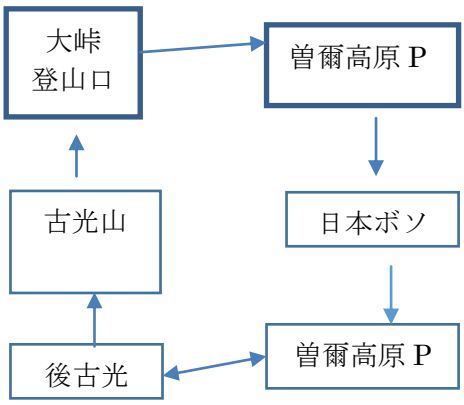
１０月２８日　　古光山　　小川　弘二

山　名	古光山	山行名	10 月例会
ルート	京田辺→曽爾高原駐車場→後古光山→古光山→南峰→大峠登山口→曽爾高原駐車場→日本ボソ→曽爾高原駐車場→京田辺		
山行日	２０１８年１０月２８日（日）	天　候	晴
参加者	リーダー：　小川　　サブリーダー：　土岐 男性：木元・ 女性：伊藤（典）・秋山・吉澤・渡邉（一般） 参加者計　7 名		

ルート概略図



コースタイム

地　名		時：分	地　名		時：分
京田辺	発	07：00	曽爾高原駐車	着	14：00
	着			発	
曽 爾 高原駐車	着	09：10	日本ボソ	着	14：24
	発	09：41		発	
後古光山	着	10：43	曽 爾 高 P	着	15：10
	発			発	15：30
古光山	着	11：40	京田辺	着	19：00
	発	11：43			

当初は２７日（土）の予定だったが天気が悪く１日延して日曜日の山行とした。途中事故に遭遇し、曽爾高原到着が９時 10 分となったが、登山口に近い駐車場はほぼ満杯。

曽爾高原入口を右に行き登山口に入る。標識にはハイキングコースと記されていたが確かに後古光山まではハイキングコースだが、そこから古光山までが急降下と急登の連続でヤマレコの登山報告ではジェットコースター的な登山との評があったが正しくその通りの厳しさであった。南峰の手前の展望の良い場所で昼食を取り、大峠登山口まで下り、その後、みつえ高原牧場の牛を右手に見ながら林道を曽爾高原駐車場まで戻る。当初の予定では曽爾高原のススキを一寸見て帰る予定だったが、歩き足りないとの声があがり、日本ボソまで登りたいと言いだしたので私は反対したのだが、他のメンバーは全員行きたいということで押し切られてしまった。今回はメンバー編成を間違ったとつくづく反省。50 代が 4 名・60 台前半が 2 名と私以外は皆若手でした。私とＡ子さんは亀山峠まで登り、その他のメンバーは倶留尊山の手前の日本ボソまで行き、引き返してきた。

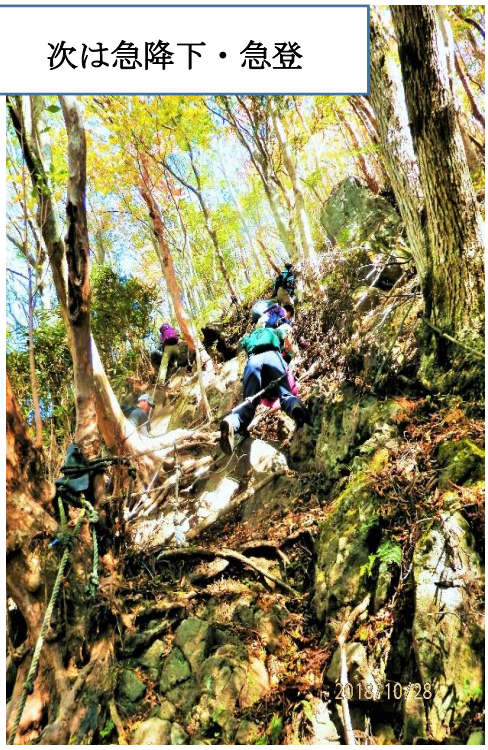
曽爾高原のススキも 5 年前と比べて半分以下に減少して寂しい限りですが、依然として人気があるのか人の列が続いており、特に中国人が半数以上かな・・・山上の方から山焼きを始めており、ススキの見ごろも後僅かかな？

3 時半頃曽爾高原駐車場を出たが登りはお亀の湯辺りまで車の大渋滞が続いており、諦めて帰る方が良いのにと思いながら帰路につく。

ヒヤリハット：　なし

最初はハイキング

次は急降下・急登



曽爾高原山焼き・亀山峠から

古光山山頂